

指定管理者評価票

年度	令和4年度
担当部署	福祉部 福祉課 障がい者支援係

1 公の施設

施設名称	瑞穂町精神障害者共同作業所「ころぼっくる」		
所在地	瑞穂町駒形富士山178-1		
施設概要	敷地面積952.76㎡、建築面積205.82㎡、木造平屋建 屋内作業所、事務室、面談室、休憩室、食堂、浴室、倉庫、トイレ、玄関		
設置年月日及び経過年数（導入時）	平成17年4月	導入後	18年経過

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	特定非営利活動法人みずほまち精神保健福祉会			
	所在地	瑞穂町箱根ヶ崎806-1			
指定管理期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	選定方法	非公募	利用料金制	導入
指定管理の目的及び求める効果	長期にわたり精神障がい者に対し、社会復帰等の支援を行ってきた民間活力及び経験を取り入れることにより、精神障がい者の自立支援を効率的に実施することを目的とします。				
指定管理の業務内容	1 共同作業所の運営に関すること 2 施設及び設備の維持管理に関すること				

3 施設の利用状況

(単位：人、円)

利用状況（量）を示す指標名	前指定末 令和2年度	指定期間中の実績				
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 施設延べ利用者数	2,562	3,002	2,942			
② 就労移行支援利用者実数	5	1	5			
③ 就労継続支援B型利用者実数	16	19	18			
④ 一般就労、福祉的就労者数	2/0	1/0	0/0			
⑤ 平均工賃	11,747	11,647	13,507			

4 指定管理者の収支状況

会計方式

発生主義

(単位：円)

		前指定末 令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入	指定管理料	3,265,000	3,026,000	3,501,000			
	利用料金収入	21,436,021	28,168,973	23,260,892			
	その他	16,748,513	7,918,074	6,503,151			
	計	41,449,534	39,113,047	33,265,043			
支出	支出	27,017,000	30,434,728	29,440,517			
	うち修繕費	0	84,216	179,089			
	うち人件費	22,840,340	24,586,876	24,969,748			
	その他	4,176,660	5,763,636	4,291,680			

5 今年度の変更点

施設管理・改修に関する こと	令和3年度	結束機修理3回、丸鋸修理3回（事業者）
	令和4年度	丸鋸修理13回（事業者）、作業室空調修繕（町と事業者案分）
	令和5年度	
	令和6年度	
	令和7年度	
事務改善及び効率化等に 関すること	令和3年度	税理士との顧問契約、会計及び総務人事事務を事務局に一本化
	令和4年度	事務関係のデータをクラウド保管、セキュリティの強化と階層化
	令和5年度	
	令和6年度	
	令和7年度	
利用状況に関すること	令和3年度	福祉バスの廃止に伴い下半期から送迎を開始 農業作業の拡大と販路拡張
	令和4年度	薪の販路拡大に向けて営業活動
	令和5年度	
	令和6年度	
	令和7年度	

6 経費比較（前指定末と指定後）

（単位：円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
算定	指定後	3,373,000	3,706,000			
	前指定末（令和2年度）	3,383,420	3,383,420			
	比較	-10,420	322,580			
実経費	指定後	3,026,000	3,601,000			
	前指定末（令和2年度）	3,265,000	3,265,000			
	比較	-239,000	336,000			

※実経費では、「町職員人件費」及び「物品提供金額」を除外

7 個別評価

評価ランク		評価内容
良い	5	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
やや良い	4	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であった。
普通	3	協定等をほぼ遵守し、おおむね仕様に沿った管理であった。
やや悪い	2	協定等をほぼ遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
悪い	1	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目		評価の着眼点	評価	管理者評価理由	評価	担当者評価理由
業務評価指標	協定書・仕様書で示した事項	協定書・仕様書で示した事項が適切に履行されているか。 ・条列で示した開館日数と実開館日数は適切か など	5	協定書に即した事業展開を条列で示した開所日数で行いました	5	協定書・仕様書で示した事項について、適切に履行されています。
	維持管理状態	維持管理の状態が適切か。など	4	敷地内外の清掃、整理整頓を心掛けています。火災・防犯設備・空調等の保守点検を実施しました。作業室の空調機が故障したため、役場職員と協議して、費用を案分して修繕を行いました。修繕が必要な箇所が多いため、今後の修繕内容や実施時期を町と協議して決定しています。	4	施設の老朽化により、修繕が必要な箇所が増えていますが、令和4年度は事業者と修繕費用を案分して空調を修繕しました。今後、作業室の床など指定管理者と協議して優先順位をつけ、順次修繕等を行っていきます。
インプット指標	行政資源投入量	指定管理料の増減の状況は。指定管理料は適正か など	5	指定管理料積算に関するヒアリングを町から受け事業者の希望も考慮した増額を提示されたと感じました。	5	送迎の開始、施設の老朽化に伴う修繕、物価高騰などによる経費増などについては、ヒアリングを行い、指定管理料の増額や町予算での対応を順次行っています。
	職員投入及び物品提供の状況	職員投入及び物品提供の状況は。 ・町職員の関与や提供物資等は適切か など	5	町職員とは必要に応じた打ち合わせやヒアリングを行えました。コロナ禍に於いてはマスクの提供やPCR検査費用の補助を受けました。	5	施設職員とは日頃から密に連携しています。物品の提供の必要性についても、ヒアリングの機会に指定管理者と協議を行っています。
アウトプット指標	利用者数の状況（事業の活動量、活動実績）	事業計画どおりの利用状況になっているか。 ・利用者は事業計画どおりか（環境の変化など外部要因考慮） など 利用者の満足度を得られているか。 ・職員の接客態度、利用条件等は適切か など	4	登録者数は増加していますが、利用者延数は昨年度より若干減少しています。今年度は一般就労に結びつく利用者はいませんでした。発達障害傾向が強い方を受け入れることが増え、病状や障害特性上、対人葛藤を回避するため、利用時間や曜日を重ねないように配慮するなどの対応を行ったため利用率の引き上げに僅かながら支障がありました。また、体調不良による自宅療養者も出たため、利用者延数を伸ばすことができませんでした。	4	既存の施設・設備の制約がある中で、可能な範囲で利用者を受け入れていません。障害特性や病状への配慮も行っており、利用者からの苦情等もありません。
	施設の稼働状況（稼働日数・貸し出し日数）	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか。 ・施設の設置目的を達成しているか など	5	条例に示した開所日数で運営しましたが、上記の状況から、現在の施設では障害特性に合わせて作業室を分けるなどの配慮が難しく、利用回数や時間を調整して運営している状況です。	4	精神障害者を主な対象とした就労継続支援B型、就労移行支援事業所として、条例に示した開館日数どおり、施設の目的に沿った稼働状況となっています。
	利用料収入の状況	事業計画どおりのサービスが提供されているか。 ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか。 ・営業努力の状況は認められるか など	4	コロナ禍の影響から授産の低迷が続き授産収入は減少しています。新規の授産作業の獲得に努めましたが結果を出すことができませんでした。利用登録者数は増えましたが、上記の状況から利用者延数が減少したため、訓練等給付費収入はやや減少しました。	3	利用者延数を今後も維持しつつ、新たな授産事業の獲得などの営業努力を続ける必要があります。
業務収支	収支のバランスが適切か。 ・経営状況は安定しているか など	4	令和4年度は394万円の黒字となっており、収支のバランスは適切です。コロナ禍の影響もあり利用料収入が減少している一方、税理士の指導の下経費削減に取り組んでいますが、物価や人件費の高騰などから、今後経費は増加することが見込まれます。	4	現在の収支のバランスは適切です。新たな授産事業の獲得や経費削減など、今後も適正な収支バランスを維持するための努力が必要です。	
アウトカム指標	利用者の利便性の改善	利用者の利便性向上のため、どのような努力をおこなっているか。 ・利用者の意向反映について、適切に改善策が講じられているか など	4	利用者と個別面談を行い、個別支援計画を作成して目標や支援方法を設定しています。病状や障害特性に配慮し、物理的に他の利用者とは作業環境を分けたり、作業内容に配慮していますが、既存の施設では限界があるため、通所日時を調整するなどの対応を行いました。これにより、集中力が改善し、作業効率が上がるなどの効果がありました。	4	既存の施設・設備の制約がある中で、可能な範囲で利用者の利便性や病状・障害特性への配慮行っています。
	プログラム等質の改善	施設の活用や事業への創意工夫はどのようなことを行っているか。 など	5	職員の支援力向上のため、内外研修の義務化や資格取得の奨励、補助を行いました。薪や野菜の納品に積極的に利用者の参加を促しモチベーションや自己評価の向上を図りました。	5	職員の支援力向上に積極的に取り組んでいるほか、事業内容への創意工夫が見られます。
	利用者の満足度の状況	モニタリング（利用者の満足度）はどのようなことをおこなっているか。など	4	3年ごとに第三者評価を受け、サービスの改善に努めています。（次回令和5年度）必要に応じてフォーマル・インフォーマルな面談を行い利用者ニーズの取りこぼしが無いよう支援に努めました。また、他機関と連絡を密にし利用者の生活を総合的に理解するよう努めました。	4	日頃から利用者と面談するなど、ニーズの把握を行っています。就労に関することだけでなく、利用者の日常生活も含めた総合的な支援に努めています。
遵法検査	遵法検査の状況	法定検査及び必要な検査並びに東京都や町の監査は適切におこなわれているか。など	5	障害者総合支援法や都の指定基準を遵守し事業を行っています。設備面では、車両・フォークリフトの点検、法定点検、消防点検を実施しました。会計監査は税理士確認のうえ監査を受けています。	5	法律や指定基準を遵守して事業を実施しています。必要な点検等は実施されており、修繕の必要性などについては、適宜報告を受けています。
総括	経費比較（前指定末と指定後における町支出の比較）	町職員の関与は適切か ・経費の状況は適正か。など	5	営繕に関する相談や、現地視察など適切な関与を受けています	5	日頃から施設職員との連絡を密に行い、事業報告や予算の時期にはヒアリングを実施して、適正な経費状況となるよう、予算確保に努めています。令和4年度は、当初予算で送迎経費の増額分379,000円を増額したほか、下記のとおり補正予算を組んで経費増に対応しました。 物価高騰による光熱費・燃料費等の増：指定管理料96,000円増額 ガソリン代助成（1/2補助）：100,000円